

# 第26期 事業報告

(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

## 1 株式会社の現況に関する事項

### 1-1 事業の経過及び成果

令和2年度までを期間とする京都市との勸業館指定管理者協定の2年目となる今期は、公募選定時に提案した経営計画及び事業計画を誠実に遂行し、次期選定へ向けての土台作りの年とすべく業務に取り組んでまいりました。

また、京都市の「京都館」の閉館方針を受け、昨年度末をもって東京支店を廃止したことに伴い、社員1名を事業課から業務課に配置転換し、勸業館の稼働率向上に向けた固定主催者に対するフォローアップと次年度以降の催事誘致促進のための体制強化を図りました。

このような状況のなか、会社全体の売上高は、昨年度より205,048千円(本社分22,882千円/東京支店分182,166千円)減の698,550千円となりました。また、営業利益につきましても、昨年度より17,847千円減の17,069千円となりました。

当社の主要事業である京都市勸業館事業につきましては、固定顧客の継続したご利用や国際会議も含めた学術会議のご利用が堅調であり、また、京都初開催となったインターナショナルギフトショー等の新規催事も一定獲得できましたが、上半期に大型の新規催事が誘致できなかったことにより稼働率は昨年度を2.27ポイント下回る52.85%となりました。しかしながら、3期連続して50%を超える成績となりましたのも、「多目的に利用できる施設だと知ってもらおう」及び「使いやすい施設だと思ってもらう」これまでのセールス活動の蓄積による成果と考えています。この結果、駐車場を含む施設利用料収入は昨年度より17,641千円減の615,337千円に止まりました。

京都伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ事業につきましては、酷暑や台風の度重なる襲来などにより岡崎地域への国内外の来訪者が減少したことをはじめ、年間を通じた来館者の減少により、商品売上高は44,924千円となり、昨年度から6,890千円減少いたしました。取扱い開始以降順調に伸ばしてきた免税売上も昨年度から9.8%減少いたしました。

自主企画事業については、5回目の記念開催となった夏のイベント「電車王国inみやこめっせ」が、過去最高の入場者を記録するなど、成功裏に終えることができました。また、秋の「かがやきめっせ」をはじめ、冬の「ウィンターイルミネーション」、春の「桜まつり」等の季節を彩る事業、そして伝統産業の日の協賛事業として開催する「京ものフェスティバル」事業も多くの方にお楽しみいただき、これらの事業を通じて、市民の豊かな生活の形成及び岡崎地域の賑わいの創出に貢献できたと考えています。

費用面では、安心、快適な施設として京都市勸業館をご利用いただく方々の信頼に応えるため、これまでから施設の修繕、備品の充実に取り組んでおり、今期は、1階のトイレを温水洗浄機能付き便座に改修いたしました。今期は、緊急修繕が想定内に収まり修繕費の執

行が減少したこと、また、東京支店を廃止したことにより販売費及び一般管理費は 81,536 千円(本社分 2,379 千円/東京支店分 79,157 千円)減少いたしました。

以上のことから、今期は、昨年度と比較して売上高並びに売上原価、販売費及び一般管理費ともに減少し、経常利益も減少いたしました。なお、今期から賞与引当金の計上を開始したため、前期損益分 5,717 千円を特別損失に計上いたしており、この結果、税引前当期純利益は昨年度を 5,238 千円下回りましたが、それでも当初予算を 1,551 千円上回る 21,051 千円を確保することができました。

#### 1-2 直前三事業年度の財産及び損益の状況

区 分	第23期	第24期	第25期	第26期 (当事業年度)
売上高	851,518 千円	937,683 千円	903,598 千円	698,550 千円
当期純利益	17,626 千円	34,363 千円	19,456 千円	11,465 千円
一株当たり当期純利益	9,792 円 41 銭	19,090 円 70 銭	10,808 円 89 銭	6,369 円 51 銭
純資産	464,216 千円	498,580 千円	516,236 千円	527,701 千円

(注) 京都館の閉館に伴い、第25期をもって京都館事業を終了

#### 1-3 当該事業年度における主要な事業内容

当社が現在行っている事業の主なものは、次のとおりです。

##### (1)京都市勸業館事業

展示場及びその付随施設、会議室、ギャラリーの貸出、展示会の企画運営サービス、  
駐車場管理

##### (2)京都伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ事業(「京紫苑」の運営)

伝統工芸品の販売

##### (3)自主企画事業

電車王国 in みやこめっせ、伝統産業の日 in みやこめっせ協賛事業・京ものフェスティバル及び桜まつり、かがやきめっせ(以上岡崎魅力づくり推進協議会コラボレーション事業)等の実施

#### 1-4 当該事業年度の末日における主要な営業所及び使用人の状況

##### (1)主要な営業所

本店 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

(2)使用人の状況

従業員数（うち、臨時社員数）	前事業年度末比増減
21人（5人）	15人減

(注)従業員数には、臨時社員を含んでいます。

## 2 株式に関する事項

### 2-1 株式数

(1)発行可能株式総数	4,000 株
(2)発行済株式の総数	1,800 株
(3)当事業年度末の株主数	9 名

### 2-2 株主及びその持株数

株 主 名	持 株 数 (株)	持株比率 (%)
京 都 市	1,080	60.0
京 都 府	100	5.6
京 都 商 工 会 議 所	100	5.6
公益財団法人京都伝統産業交流センター	100	5.6
公益社団法人日本図案家協会	100	5.6
株式会社三菱UFJ銀行	90	5.0
株式会社京都銀行	90	5.0
京都信用金庫	80	4.4
京都中央信用金庫	60	3.3
合 計	1,800	100.0